



旬のかまぼこ

4月

桜は、美しく咲き、散る姿を見せてくれる。
 私たちは、この桜にどんな町を見せられるだろう。
 我が子に、どんな親の姿を見せられるだろう。
 そんなことを思っ、思わず背筋が伸びた。

桜は、その土地に根付いている。
 そこに流れてきた時間をまもっているのだ。
 富ヶ浦公園の桜もまた、
 かつての港の賑わいや、
 その後の不況にあえぐ商店街や、
 あの震災のことを、ここから眺めてきた。

4月の料理

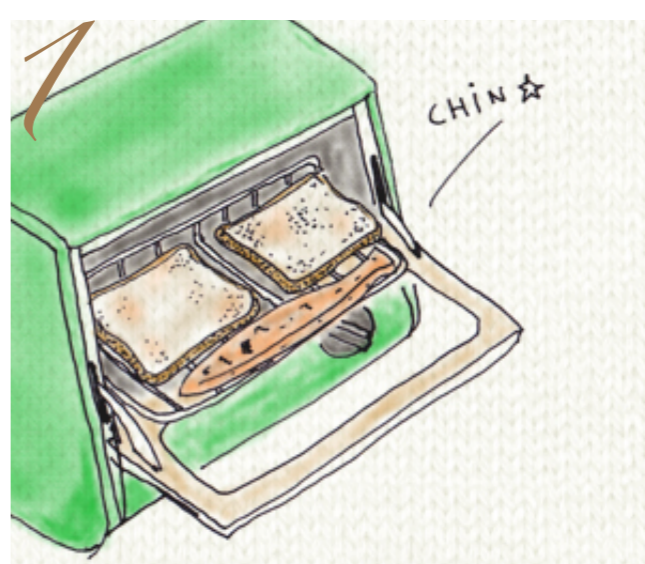
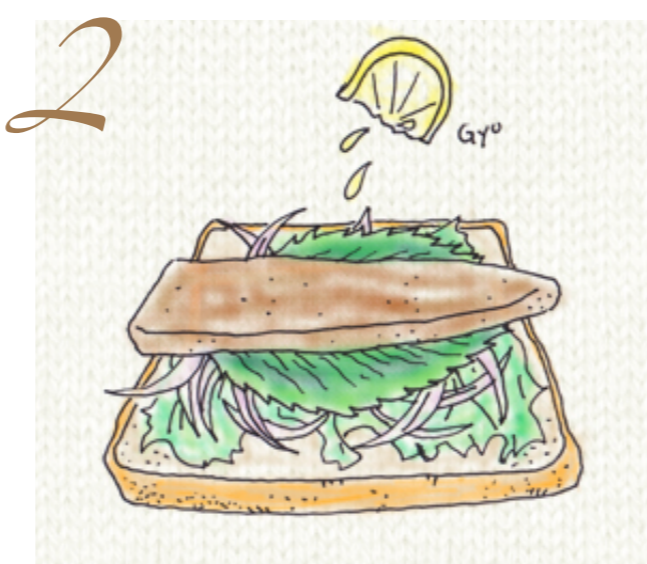


さんまのぼーぼー焼風かまぼこを使った
ぼーぼーサンド

思わず外で過ごしたくなる4月。
 外でも食べられる「ぼーぼーサンド」を作ってみました。
 さんまとわさびマヨネーズが絶妙のマッチング。
 ぼーぼーサンドを持って、さあ出かけましょう！



• つくりかた •
LET'S COOKING



小名浜に陣屋があったことを示す陣屋跡が住宅地に残されている。

● 今月のコラム

このページの桜の写真は、いわき市小名浜の富ヶ浦公園で撮影されました。富ヶ浦公園は、小名浜の桜の名所として知られていて、桜の時期になると提灯が飾られ、花見をする人たちが賑わいを見せます。小高い丘の上にあります、小名浜を一望できるその眺望が人気です。

公園のそばには浄光院というお寺があり、江戸時代の歌人、内藤露沾が選んだ『小名浜八景』の石碑が建てられています。諏訪晴嵐・虎山晩鐘・綱取秋月・舁舟帆・岡山暮雪・大原落雁・松之中夜雨・照島夕照の八景。松之中や綱取などは現在も地名が残っていて、とても興味深いものがあります。

八景の1つ、諏訪春風では、露沾本人が次のような句を詠んでいます。

『春きよししなどの嵐小名の海』

小名浜諏訪神社の裏手にある森が、初春の強い風でざわざわと音を立てる様が目に浮かびます。「そろそろ春も本番だなあ」と風を感じながら、露沾は小名浜の海を眺めたのでしょうか。私たちが美しいと思うのと同じように、江戸時代の歌人も歌を詠む。今も昔も、小名浜の美しさは、変わりませんね。

小名浜の町中には、かつて陣屋があった場所や、伝統ある寺社仏閣など、歴史を感じさせる名所がたくさんあります。休みの日などを使って、ゆったりと町歩きしてみるのもいいかもしれません。



鳥居が青く塗られた小名浜諏訪神社。背後に森が広がる。

Let's Go! **富ヶ浦公園** 福島県いわき市小名浜観音作地内 **小名浜諏訪神社** 福島県いわき市小名浜諏訪町 23-1

● 今月のスナップ

編集後記...もう今年も4月ですね。新年度で環境が変わるこの時期がどうも苦手です。皆様もどうぞご無理をなさらず、かまぼこ食べてレッツゴー(い)

富ヶ浦公園 (小名浜)

photo / (c)

● 今月のかまぼこ

さんまのぼーぼー焼風蒲鉾

いわきの郷土料理「さんまのぼーぼー焼き」の蒲鉾バージョン。さんまを50%も使用。本来のぼーぼー焼きにはない、ぷりっとした食感です。

商品詳細ページへ